



A N N U A L R E P O R T 2018



公益財団法人静岡県文化財団

〒422-8019 静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号 TEL.054-203-5710 FAX.054-203-5716 URL.<https://www.granship.or.jp>

●令和元年11月20日発行 ●デザイン監修/甲賀 雅章 ●デザイン/北村 善行

(公財)静岡県文化財団 2018年度年次報告書



はじめに	01
事業体系図	02
トピックス	03
事業報告	15
主催事業一覧	23
主な貸館事業	27
決算状況 静岡県文化財団・グランシップの沿革 グランシップの施設概要と利用状況	29

## はじめに

公益財団法人静岡県文化財団は、個性豊かな県民文化の振興を図り、もって県民生活の向上と活力あふれる郷土づくりに寄与する目的として、昭和59年5月22日に静岡県及び県内の市町村、県民の皆様からの出捐により設立されました。その後、学術、文化及び芸術の振興と国内外の交流を図る静岡県コンベンションアーツセンター グランシップの管理運営を受託し、現在に至っています。平成30年度(2018年度)を振り返ってみますと、第4期(2017～2021年度)グランシップ指定管理業務の2年度目であり、「上質で多彩をより身近に」「県民との繋がり」と広域的な協働・交流」「安全・安心・快適な施設運営と経営の安定化」「働きやすい職場づくり」を四本の柱として事業を展開しました。特にグランシップ企画事業では、戦略的に展開するため、新たに事業目的を「音楽文化の普及・振興」「文芸・美術等の振興」「伝統芸能の継承」「子育て世代への支援」の4本の柱に整理し、事業に取り組みました。

### 1 上質で多彩をより身近に

- 県と一体となって、文化芸術の振興 一本県の文化の創造、発展、普及一 を図るため、クラシック、ジャズ等の音楽や、歌舞伎、能楽等の伝統芸能を中心に「上質」で「多彩」な公演や講座、ワークショップをグランシップを始めとして、県内各地で実施しました。
- 「ふじのくに文化情報センター」では、「ふじのくに文化情報フォーラム～個別テーマ実践プログラム～」を新たに取組むなど、県民の文化芸術活動への支援を積極的に進めました。

### 2 県民との繋がり」と広域的な協働・交流

- グランシップの賑わい創出を目指し、大学、公立美術館等が協働で進めている「めぐりアート」と連携した「めぐりアート+ (プラス)」を新たに開始するなど、静岡県立美術館、静岡県舞台芸術センター(SPAC)を縦系に、大学、高校及び中学等の学校、市町の公立文化施設、文化芸術団体、アーティスト、マスコミ、企業を横系に、連携の強化を図りました。
- 県民参加型の催事として、11回を数える「音楽の広場」では、県内オーケストラの参加者が過去最高を記録したほか、県内高校生、大学生が参加主体となった「春の音楽祭」を初開催しました。「トレインフェスタ」では、JRグループ旅客6社と観光協会等が展

開するデスティネーションキャンペーンと連携し、横浜、熱海、名古屋から臨時列車を運行するなど、県内外から3万人近い来場者を記録し、広域的な繋がりを目指す事業を展開しました。

- 静岡オリジナル楽曲を創作する「NHK交響楽団×野平一郎プロジェクト」を引続き実施したほか、新たに県内外の伝統芸能の実演とシンポジウムで構成した「ふじのくに伝統芸能フェスティバル」を開催するなど、県内外の様々な組織、個人とネットワークを構築しながら、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて本格化する文化プログラム推進の一翼を担いました。
- 県文化プログラムの県域プログラム内の2つがグランシップで計画されるなど、県内における文化プログラムの拠点として、推進に向けて積極的に関係機関等と連携を図りました。
- 貸館の利用を促進するため、きめ細かな貸館利用情報を分かりやすく提供し、利用者への催事開催支援サービスを充実するなど、一層の利便性向上に取り組みました。また、ツインメッセ静岡と連携して、休館明けとなる2021年以降の大規模催事誘致や首都圏への営業活動を行いました。

### 3 安全・安心・快適な施設運営と経営の安定化

- ユニバーサルデザインや省エネルギーに配慮するとともに、適時適切な施設の点検を行い、照明器具等の設備交換など遅滞なく維持修繕を実施しました。また毎月の防災訓練、研修を通じ、安全・安心な施設・設備の管理運営に取り組みました。
- 労働関係のキャリアアップ助成金を獲得するなど、国等の支援制度を積極的に活用するとともに安定した収入の確保と積極的な経費の節減により、効率的・効果的な運営を図りました。

### 4 働きやすい職場づくり

- 契約職員の正規職員化制度の活用や、改正育児休業法を受け就業規程の改正、研修による意識啓発等により職員の仕事と生活の両立(ワーク・ライフ・バランス)を推進しました。

最後に、4本柱で取組んだ平成30年度は、グランシップ第4期指定管理者2年度目として、着実に成果を上げることができています。1年間の歩みを御高覧いただければ幸いです。

## 平成30年度(公財)静岡県文化財団事業体系図

個性豊かな県民文化の振興、県民生活の向上と活力あふれる郷土づくり

### 基本方針

- ◎上質で多彩をより身近に
- ◎県民との繋がり」と広域的な協働・交流
- ◎安全・安心・快適な施設運営と経営の安定化
- ◎働きやすい職場づくり

### 文化芸術の振興

#### グランシップ企画事業

- ①音楽文化の普及・振興
  - ②文芸・美術等の振興
  - ③伝統芸能の継承
  - ④子育て世代の支援
  - ⑤新たなグランシップファン獲得のための取り組み
- ア 上質で多彩な鑑賞事業  
イ WSから公演までアウトリーチ事業  
ウ 関心・理解・親しみを深める教育普及事業  
エ 誰もが参加できる県民参加型事業

#### 文化支援事業

- ①ふじのくに文化情報センター
- ②グランシップ企画事業を活用した人材育成

#### 文化プログラムの取組み

- ①グランシップオリジナル文化プログラム
- ②関係機関と連携した文化プログラム
- ③文化カプロジェクト環境整備事業

### グランシップ管理運営

#### 貸館業務

- ①利用者サービスの一層の向上
- ②積極的な営業活動
- ③大規模催事の誘致

#### 維持管理業務

- ①安全・安心・快適な施設管理
- ②ユニバーサルデザインに配慮した施設運営
- ③省エネルギーと環境負荷の低減
- ④賑わい創出
- ⑤駐車場管理・自動販売機等管理

#### サポート組織の運営

- ①危機管理

#### 危機管理とリスクマネジメント

- ②リスクマネジメント

### グランシップ友の会

### 文化財団法人運営

#### 広報・宣伝

- ①広報調整会議の開催
- ②多様な媒体、手段の活用

#### 働きやすい職場づくり

- ①人材育成
- ②仕事と生活を両立できる職場づくり

#### 安定した財務管理

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムの静岡県における拠点となり、文化芸術の振興や、レガシーの創出、地域に伝わる民俗芸能の継承がより盛んに行われるよう、特に力を入れた事業を展開した。



©PARCO

切り口を変えた伝統芸能で新たなファンを獲得  
グランシップ伝統芸能シリーズ  
Parco Production 三谷文楽  
「其礼成心中」

2018年8月10日(金)、11日(土)、12日(日)  
中ホール・大地 1,825人

グランシップが継続して取り組んでいる日本の伝統芸能のひとつ「人形浄瑠璃 文楽」を、従来の伝統的な公演のほかに、静岡で初めて三谷幸喜作・演出による革新的な新作文楽を上演することで、伝統芸能の魅力を幅広い層に発信。

近松門左衛門が実際の心中事件を元に書いた『曾根崎心中』の大ヒットに振り回される市井の人々を描いたストーリーと、現代語で繰り広げられる台詞は、安心して文楽の世界に入っていけるものであり、笑って泣ける喜劇であった。本公演を機に、これまでの文楽ファンのみならず、これまで文楽を観たことがない若い世代を中心とした新しい層が、文楽はもちろん、他の伝統芸能公演にも足を運ぶきっかけを作った。



静岡のレガシーをつくる大プロジェクト

NHK交響楽団×野平一郎プロジェクト シリーズII  
～N響メンバーによる古典派編+野平一郎  
新作 静岡トリロジーII「終わりなき旅」～  
2019年3月24日(日) 中ホール・大地 393人

静岡から全国に、2020年に向けて世界に発信する大きな文化的財産となることを目指し、グランシップが国際的に活躍する作曲家・ピアニストである野平一郎氏に、静岡の歴史に残る楽曲(三部作)を委嘱。毎年1作ずつ3年の歳月をかけて、日本を代表するオーケストラNHK交響楽団が世界初演する大プロジェクト。新作委嘱作品は「静岡トリロジー(三部作)」と名付けられ、第1回は、2018年3月3日に開催。続く第2回として、モーツァルトの時代にあった「コンチェルトアンテ」に近い編成で演奏された。音楽の歴史が確かに受け継がれ、そしてまた、「静岡」の名を冠した楽曲が、新たに世界へ飛び立つ瞬間を体感する公演となった。

過去から未来へと文化のバトンをつなぐ

静岡県文化プログラム500日前イベント  
ふじのくに伝統芸能フェスティバル  
～わたしがつなぐ、101年後へ～

2019年3月30日(土) 6階 交流ホール 194人

2020年に向けた静岡県文化プログラムとして長い歴史の中で築いてきた日本の伝統芸能について改めて考えるべく3回シリーズで開催する1回目。はるか昔、ヨーロッパや大陸から日本に伝わった芸能や文化は、静岡県にも、多数の民俗芸能として地域に根付き、現代まで脈々と継承されている。シンポジウムでは、地域で活動している民俗芸能団体、沖縄県や静岡県の高校生たちの活動事例の紹介に加えて、様々な日本の伝統芸能に影響を与えてきた能楽の世界から、大倉流小鼓方十六世宗家・大倉源次郎さん(重要無形文化財各個認定/人間国宝)を迎えて、日本における芸能の伝播と今後の伝承についての課題と展望を探った。



複合施設であるグランシップの特性を生かし、年間を通じて様々な国内外の「上質」で「多彩」な公演を実施。それぞれのジャンルのファンだけでなく、子どもたちや、中高生がはじめて劇場に訪れ鑑賞する機会としても、こども・学生料金や中高生鑑賞プランの利用で、“本物”に触れるための環境づくりを推進した。



大人の想像以上に子どもの感性は豊かである  
グランシップ世界のこども劇場2018

2018年7月1日(日)「にっぽんこども劇場  
～文楽わんだーらんど～」 中ホール・大地  
2018年8月2日(木)、3日(金)、4日(土) 中ホール・  
大地、6階 交流ホール 他 計1,670人

幼い時期から世界の演劇やパフォーマンスに触れ、各国の文化や舞台芸術を見ること・劇場へ行くことの面白さを感じる機会を創出。初めて実施したグランシップオリジナルの文楽のプログラムでは、実演の鑑賞に解説、技芸員と直接触れ合い、人形遣いの体験などができる貴重な場面も。海外のカンパニーの上質な作品でも、国や言葉の壁を越えて、様々な表現や文化、人・芸術と出会う体験が多様な価値観を育み、感動をもたらした。子どもたちの感性に良い刺激を与えたことは、帰る時のキラキラした笑顔を見ると、一目瞭然であった。

「日本を知ろう!」文楽イヤーを華々しく締めくくる  
人形浄瑠璃 文楽

2019年3月23日(土) 中ホール・大地 1,018人

2020年に向けて、世界から日本の伝統やカルチャーが注目される中、「日本を知ろう!」と題し、日本の代表的な伝統芸能の一つで、2008年にユネスコ無形文化遺産に登録された「人形浄瑠璃 文楽」にスポットを当て、年度を通じて幅広い世代に向け初めてでもわかるような仕立てで展開。「はじめての文楽」冊子を作成し、「文楽」への一歩目を踏み出しやすとした。事前レクチャーや文楽入門講座を経て、公演では、浄瑠璃三大傑作の一つの義経千本桜で、日本の伝統文化を世界に語る準備ができたと言える。



世界の一流の演奏を静岡で  
アンドレス・オロスコ=エストラダ指揮  
フランクフルト放送交響楽団  
ピアノ: チョ・ソンジン

2018年6月10日(日) 中ホール・大地 892人

静岡の地で、毎年、世界の優れたオーケストラ公演をお届けするグランシップ海外オーケストラシリーズ。若くして抜擢された音楽監督アンドレス・オロスコ=エストラダ率いるフランクフルト放送交響楽団は90年近い歴史を持つドイツの名門オーケストラの一つである。ソリストに、2009年浜松国際ピアノコンクールで優勝、2015年、アジア人で初めてのショパン国際ピアノ・コンクールの覇者となり、世界中の注目を浴びているピアニスト・チョ・ソンジンを迎え、ラフマニノフのピアノ協奏曲第2番、マーラーの交響曲第5番を演奏。明瞭で躍動感あふれる指揮と高い技術で応えるオーケストラに、チケット完売で満席となった客席からは、世界の本物を目の当たりにして惜しめない拍手が鳴りやまなかった。

グランシップの音楽公演の多くは、中ホール・大地で行われるが、その定石を覆して、大ホール・海を会場にしたジャズ公演を実施。会場の特性を生かした特別な演出で楽しみを付加し、広がる分、より多くのお客様のご来場が可能になり、新たなファンも獲得した。

また、勢いと実力を兼ね備える出演者でお届けした寄席も、従来のファンを満足させたのはもちろん、新しい層が、話芸の面白さに触れるきっかけとなった。



ジャズのレジェンドたちが日本初上陸の「ウエスト・サイド・ストーリー」を

バーンスタイン生誕100年記念公演  
D. グルーシン・ビッグ・バンド  
「ウエスト・サイド・ストーリー」

2018年11月9日(金) 大ホール・海 991人

偉大なる指揮者・作曲家、レナード・バーンスタインの生誕100年を記念し、D. グルーシン率いる超一流の演奏者が集結したビッグ・バンドによる「ウエスト・サイド・ストーリー」は、CDリリースから20年の時を経て、日本初上陸。静岡、グランシップを皮切りにツアーを開始した。中高生鑑賞プランを利用して、吹奏楽部などの多くの高校生も来場。アンケートには、「初めて見た生のジャズに、本当に感動した!」、「全員で一つの音楽をつくっているのが伝わってきて、すごく良かった。」、「とても素晴らしい演奏で、明日の自分を奮い立たせてくれるような気持ちになった。」との感想も。大ホールの大空間に、一流のメンバーが生み出す、本物のジャズが響きわたり、世代を超えた人々の心が揺さぶられた。



ホールの大空間を生かし、子どもから大人まで全力でジャズを楽しむ  
H ZETTRIO LIVE "WITH US" in GRANSHIP

2019年2月10日(日) 大ホール・海 1,754人

老若男女、誰もが笑って踊れるパフォーマンスで、子どもから大人までを笑顔とともに、大ホールの広さを最大限発揮したエンターテインメント性あふれる企画。ジャズというジャンルを誰もが楽しめる音楽へと進化させ続けるピアノトリオ「H ZETTRIO(エイチ・ゼットリオ)」。「ポイ」を操り最先端アートを創出しているクリエイティブチーム「POI LAB」とコラボレーションした、本公演のイメージソング「Journey」のミュージックビデオ撮影では、満面の笑顔で子どもたちがポイを回し、観客全員がサイリウムの光で参加。和楽器とのコラボでは、ジャズと伝統楽器との新しい音楽の可能性を感じた。グランシップの大ホールだからこそ実現できたこれらの演出、子どもたちも大人も誰もが心から楽しんで、イベントタイトルWITH USの名にふさわしい一体感で締めくくられた。

話題沸騰、人気、実力ともに抜群の三人に、新しい客層も寄席へ

グランシップ寄席～春風亭一之輔・玉川奈々福・神田松之丞～

2018年10月13日(土) 中ホール・大地 828人

明治維新から150年となる時代の節目に、話芸を多様なスタイルで提案。話芸の世界でも、若い世代の台頭が目覚ましい昨今、落語・浪曲・講談それぞれの分野で新しい時代を担う実力派が登場。従来の寄席ファンに加え、若者や新たな客層が詰めかけ、多くの人々が様々な話芸に触れられるきっかけとなった。チケット完売の中、本番も客席を大いに笑わせ、感動させてくれた三人。アンケートには、「初めて来たがとても面白かった。」、「ぜひ、また見たい。」、「他の伝統芸能も体験してみたいと思った。」などポジティブな感想が多く寄せられ、話芸の面白さを知り、新たなファンが広がっていくことを実感した。



「アウトリーチ事業」(平成25年度から「グランシップ子どもアート体験!学校プログラム」)は、平成18年度より、国内外の第一線で活躍するアーティスト・講師や静岡ゆかりの音楽家と共に静岡県内の小中学校等に出掛け、本物の芸術文化を届けるためスタート。平成20年度からは、国内外・県内の芸術家によるコンサートやワークショップなど多様な形態、ジャンルで県内の文化施設や学校などで積極的に展開。継続して、平成30年度も県内各地、8事業18ヶ所で実施した。

「グランシップ出前公演」は、平成26年度より、普段グランシップに足を運ぶ機会の少ない県東部や西部の方々にグランシップの劇場体験をお届けするべく、県内各地の文化施設と共催で開催している。



子どもの時から本物に触れる体験を通して豊かな情操や心を育む

「グランシップ子どもアート体験!学校プログラム」  
六代目宝井馬琴監修 講談教室

2018年11月5日(月) 富士市立富士川第一小学校  
2018年11月6日(火) 御殿場市立御殿場南小学校  
2018年11月22日(木) 河津町立西小学校  
計259人

多くの子どもたちが初めて触れる講談という芸能がどういふものか、基本的なことを学んだ後、みんなで実際に、張扇を片手に、声を出して体験。講師の実演では、本物のパフォーマンスに釘づけとなった。先生からは、普段おとなしい児童も前に出て大きな声で発表して驚いたという声があり、子どもたちも、講師の話は全部面白かった、これをきっかけに、ますます日本の文化を知りたいと、興味を持つことができた様子。

玉川奈々福の浪曲教室

2018年9月27日(木) 焼津市立焼津南小学校  
2018年10月19日(金) 御殿場市立富士岡小学校  
計161人

日本の芸能の歴史や浪曲の成り立ちなどの説明を聞いてから、実演を間近で鑑賞。切れの良い声、ストーリーを生生きと伝える節と啖呵に引き込まれ、時折加わる物語のオリジナルアレンジに大笑いした。浪曲の声の出し方や独特の節の付け方、リズム感などを練習し、実際に名乗りや掛け声に挑戦。本物の文化芸術、実演家に触れることで、新しい発見をし、興味を持った子どもたち。普段はできない経験で日本文化に対する新たな扉を開いたよう。



自分の住んでいる地域でもグランシップの公演を楽しめる

「グランシップ出前公演」  
2018年しずおか連詩の会in浜松

2018年10月28日(日) アクトシティ浜松  
研修交流センター 音楽工房ホール 116人

静岡県出身の詩人・大岡信氏が提唱した「連詩」を静岡から全国へ発信するべくグランシップの開館以来、開催。浜松での開催は3年ぶり2回目。連詩の創作、発表を通じて、県内外の方に「連詩」の面白さや奥深さに触れてもらう機会となった。浜松出身の音楽家小島ケイタニープを筆頭に、新しいスタイルをふんだんに取り入れた遊び心溢れる朗読パフォーマンスで、連詩の世界観を見事に映し出した。時に圧倒し、時に心癒すような言葉の力に、会場も息を呑み、今後の連詩の可能性を大いに感じた。

グランシップ世界のこども劇場2018 (掛川公演)「レッドくんのもくようび」  
グランシップ世界のこども劇場2018 (菊川公演)「ハンドメイド」

2018年7月21日(土) 掛川市美感ホール  
2018年7月28日(土) 菊川文化会館アール 大ホール  
計464人

小さい子どもと遠出するのは、なかなか大変なもの。毎年開催している「グランシップ世界のこども劇場」から、言葉はなくとも、それを越えて心に伝わる世界中の子どもたちに人気のパフォーマンスアーツを市町の文化施設にお届けした。子どもだけでなく大人も楽しめる上質な公演と、それが自分たちの町で見られることに親子で感動したという声もあった。



日常では、なかなか触れることのできない文化芸術に触れる機会を設け、さらに、興味や関心を持った場合には、その理解や親しみを深めることを助けるため様々な工夫を凝らしたプログラムを展開。ジャンルも多岐に渡り、学生をはじめとした多くの方に向け、その間口を広げている。



はじめての鑑賞から次のステップへと進む

**国立劇場 歌舞伎鑑賞教室**

2018年6月26日(火) 中ホール・大地 1,643人

日本の伝統芸能のひとつ「歌舞伎」の公演を継続して行い、本公演を歌舞伎に関心を持つきっかけとなるべく展開。

初心者向けの公演として、はじめて歌舞伎に触れる学生に、敷居の高さを感じさせない「解説歌舞伎のみかた」で心をつかみ、その知識を下地に公演を鑑賞する。歌舞伎の代表的な演目のひとつ、「連獅子」の、クライマックスの勇猛な獅子の毛振り、学生にとって忘れられない経験となり、また見たい、他の演目、他の伝統芸能も見てみたいという、次のステップへのきっかけとなった。

はじめての劇場体験には「本物」を

**松村秀明指揮 神奈川フィルハーモニー管弦楽団  
グランシップ中学生のためのオーケストラ**

2019年1月30日(水)、31日(木) 中ホール・大地 2,498人

グランシップ企画事業、及び静岡県主催「子どもたちの文化芸術鑑賞推進事業」の一環として実施している「中学生のためのオーケストラ」。聴きやすい曲を集めた、いわゆる鑑賞教室ではなく、国内有数のオーケストラを招き、交響曲などを全曲演奏。本格的なコンサート体験を提供している。子どもたちが「本物」の音楽の素晴らしさを味わうことで、豊かな感性を育むことに加えて、将来に向け劇場でのマナーを学ぶことも目的の一つである。神奈川県出身の松村マエストロの「中学・高校時代には毎年神奈川フィルの演奏を客席から聴いていたが、今は指揮者となり、同じステージに立って共に音楽を創り出している」という話は、客席の中学生たちが自分の未来を想像するきっかけにもなったようだ。



一般の小学生が能舞台に立てる経験

**グランシップ静岡能 能楽入門公演**

2018年9月8日(土) 中ホール・大地 581人

開館当初から継続して、様々な取り組みを実施している日本の伝統芸能のひとつ「能楽」。はじめて能楽に触れる方や、学生でもわかりやすい解説のある「能楽入門公演」、本格的な能楽公演である「グランシップ静岡能」の二段構えで展開。能楽入門公演では、「わくわく能楽教室」の実施を通して、子どもたちが能楽を体験する機会を創出。一般公募で集まった小学4年生から大学生まで、21名のお稽古生は、約3か月にわたる謡と仕舞の稽古を経て、当日は多くの観客の見守る中、能舞台に立ち、稽古の成果を発表した。後半は、能や装束、楽器についての解説の後、地方では上演機会が少ない演目『忠信』をダイジェスト能で上演。能面をつけずに「直面」という演出や、斬り合いの場面に圧倒され、能楽の奥深さを体感した。

伝統芸能事業を単なる興行的な公演で終わらせるのではなく、地域と連携したプログラムとして普及していくことを目指した事業。数ある日本の伝統芸能の中から「能楽」を中心に、日本の芸術の魅力とともに、芸術家の物事に対する姿勢、考え方、経験を伝達することに重点をおいている。各地域の文化施設や教育機関と協力し、それぞれの実情にあわせて個別に内容や出演者を設定してオリジナル性の高いプログラムを展開している。

本物に触れる経験

**グランシップ伝統芸能普及プログラム  
～触れてみよう能楽師～  
狂言ワークショップ**

2018年10月1日(月) 河津町立南小学校 161人

国語の教科書に掲載されている内容とともに実演を鑑賞できる「狂言ワークショップ」。会場となった河津町立南小学校のほかに、河津町内にある2つの小学校、河津東小と河津西小の6年生も南小へ訪れ、河津町内の全6年生と一緒に狂言について学ぶ機会となった。初めに教室で6年生の国語の教科書に掲載されている日本の伝統芸能である狂言について、狂言師から直接説明を聞いてから、体育館に移動し、ワークショップでは、狂言の姿勢から摺り足、動物の泣き真似などを体験。後半から参加した4・5年生とともに、最後は「棒縛り」が目の前で演じられ、子どもたちも本物の迫力に驚きつつ、大笑い。本物の狂言師が伝統芸能を受け継いで取り組む姿に、見た目だけでなく「格好良さ」を感じた様子だった。



将来の担い手を育む

**グランシップ伝統芸能普及プログラム・大学連携事業  
[静岡大学教育学部]  
～触れてみよう能楽師～**

①事前レクチャー

②静岡大学学生による授業実践

①2018年11月21日(水) 静岡大学

②2019年1月30日(水) 菊川市立菊川西中学校 180人

静岡大学教育学部と連携し、小中学校の音楽の教科書に掲載されている邦楽について、将来音楽の教員を目指す学生自身にまずは体験してもらい、それをもとに指導計画を作成、実際に中学校で授業を実践するという一連のプログラムを行った。事前レクチャーとして、監修の大倉源次郎氏ほか能楽師が静岡大学で、実演を交えて解説。大学生は本物の小鼓を打ったり、謡の稽古指導を受けたり、実体験を通して学び、授業を行うポイントなど能楽師とディスカッションで深めた。これを受け大学生が授業の指導計画を作成、菊川西中学校にて音楽の授業を実践。授業後には、大倉氏からのフィードバックもあり、将来、教員になったら音楽だけでなく社会や国語など様々な教科と連携して多角的に授業が展開できると良いのではというアドバイスもあった。今回の取り組みをもとに、学生自身が日本の伝統的な音楽の魅力を再認識するとともに、自分たちが次世代の子どもたちに伝えていくという使命も実感してくれたようだ。



地域を舞台にした伝統芸能を地域の学生が伝える

**グランシップ伝統芸能普及プログラム・  
静岡県立大学国際関係学部連携事業  
～触れてみよう能楽師～能「羽衣」**

2018年11月26日(月) 浜松市立双葉小学校 74人

世界文化遺産構成資産である静岡市の「三保松原」を舞台にした能「羽衣」。静岡県にゆかりのある能を子どもたちにも紹介するべく、静岡県立大学国際関係学部の学生有志が、自分たちで制作した能「羽衣」の絵本の読みきかせと、説明を行った。その後、観世流シテ方の山階彌右衛門氏が、写真をパネルで見せながら、能はどのような演劇なのかを分かりやすく紹介。手の動きで様々な感情を表す能の型や、動きの基本である摺り足を体験。さらに、装束や能面を付ける場面に近くで見ること、能楽との距離が縮まったよう。最後に絵本で学んだ能「羽衣」の一部の場面の実演を鑑賞。伝統芸能の魅力や、子どもたちも大学生も大いに実感できる貴重な機会となった。



プロ・アマを問わず、障害のある人もない人も分け隔てなく、どんな世代でも文化に関われる環境作りを進めている。文化活動に取り組んでいる学生・県民や芸術団体が出演する県民参加型の公演事業の実施と、子どもの頃から文化に触れる機会、広義で捉えた文化活動など、様々な角度からグランシップの事業に参加できるよう、ともに事業に取り組む姿勢で、県民にとって身近なグランシップとなるよう目指している。また、文化芸術活動のレベルアップにも取り組んでいる。



小さな子どもたちが一日中楽しめる  
グランシップこどものくに  
～へんてこりんハウス～

2018年5月3日(木・祝)～6日(日) 大ホール・海、6階  
交流ホール・展示ギャラリー、3階ロビー 他 18,484人

グランシップで、ゴールデンウィークに家族が無料で安心して遊べる場・子育て支援の場として、幼児期の子供たちの創造力・想像力を育む「体験型イベント」。学生・サポーター・企業等、多くの人々が支える企画で、13回目となる今回は、掃除などの日常の「うごき」に注目し、こびとになった気分不思議な部屋に入り込むエリア、キッチン道具を楽器に見立てて音を奏でるコーナーなど、身近にあるもので様々な遊びができるコンテンツを揃えた。期間中は天候にも恵まれ、子どもたちの笑顔あふれる4日間となった。



鉄道尽くしの2日間

グランシップトレインフェスタ2018

2018年5月19日(土)・20日(日) グランシップ全館  
28,567人

日本最大規模の鉄道イベントとして、子どもから大人まで多くの方々に鉄道の魅力を知る機会をお届け。今回は「静岡デスティネーションキャンペーン」プレキャンペーンの一環として、JR東海・JR東日本の協力によりグランシップトレインフェスタのために、横浜、熱海、名古屋発、東静岡行きの特別急行の観光列車「トレインフェスタ号」が実現。グランシップ最寄駅であり終点の東静岡駅では、鉄道会社スタッフや多くの鉄道ファンの歓迎を受けた。大ホール・海をはじめとする



グランシップの各階には、鉄道クラブ32団体による工夫を凝らした鉄道模型や、鉄道写真、鉄道関連グッズ等が展示され、静岡県内の鉄道会社9社によるコーナーも。グランシップが鉄道一色に染まる2日間であった。



グランシップの夏の風物詩

一音楽で演奏者も観客も一体となる音楽会—

グランシップ 音楽の広場2018

2018年8月5日(日) 大ホール・海 7,592人

クラシック音楽をもっと身近に、誰でも、もっと気軽に音楽を楽しめるようにと始まった、静岡県ゆかりの音楽家を中心に出演者と観客の「3,000人で創る、真夏の音楽祭」。2008年に始まり、11回目を迎えた。チケットは全席完売し、当日は多くの音楽ファンが来場した。プロ・アマを問わず静岡県を中心に集結したオーケストラと合唱団の総勢約700名は、この日のために練習を重ね、本番を迎えた。また、合唱団の参加、広上マエストロを指揮者に迎えて10周年となる記念の年でもあった。演奏する人と聴く人が一体となって音楽を楽しみ、大盛況のうちに幕を閉じた。



「うたう」「おどる」「であう」

みんなで創る、新しいステージ

グランシップ春の音楽祭2019

～躍動の絆～

2019年3月10日(日) 大ホール・海 1,780人

2019年3月に開館20周年を迎えたグランシップが、これからの静岡を担う世代の新しい出会いやつながりを願い、誕生した事業。アリーナを囲むようにコの字に配置された客席の中心は、ダンスのアクティングエリア。舞台上には、オーケストラとバンドが構え、その奥には、合唱団が並ぶ。未来を拓く学生を中心としたメンバーのダンスとコーラスに、地元で活躍するオーケストラや

プロのアーティストが加わり、世界にひとつしかないオリジナルステージを創り上げた。静岡県にゆかりのある若い世代を対象に、音楽祭のイメージソングを一般公募。選ばれた楽曲「未来への軌跡」も披露された。一日限りのスペシャルな響きは、このステージのために集結した様々なバックグラウンドを持つ出演者と、同じ時間を共有した観客との間に新しい絆をもたらした。



県内の文化芸術活動を支援するふじのくに文化情報センターが創る交流と対話の場。静岡県内で幅広く文化芸術活動をしている人たちが、エリアを越え、ジャンルをまたぎ、まざることを目的に年2回、秋と春に開催している。各回の趣向を凝らしたテーマで行われるプログラムから学ぶことも多いが、静岡県で文化に関わりたいという思いを持った参加者同士がつながり合い、生まれるネットワークにも大きな価値がある。



### ふじのくに文化情報フォーラム2018 秋 Part5

文化の種を見える化する

2018年10月14日(日) 6階 交流ホール

県内で文化活動に向き合う16人のゲストを中心に、参加者は「面白いアイデアを持った人」や「ある地域では、ホットな活動が始まっている」などの情報を「文化の種」と称し、各テーブルに持ち寄った。それらの情報をテーブルごとに話し合いながら、マッピング作業を通して見える化。別のテーブルを回って共有していくと、これまで知らなかった人や活動を知る発見があり、さらに異なる領域、地域の人たちが交わることで、食×音楽のような、異ジャンルを掛け合わせた新たな発想が生まれる場面もあった。

### ふじのくに文化情報フォーラム2019 春 Part6

創造思考のイロハを学ぶ

2019年2月11日(月・祝) 11階 会議ホール・風

前半は、事例を通して、創造思考のイロハを学び、導入のアクションタイムでは、全員が体を動かして「動く・触る・観る」の可能性を楽しんだ。後半は、つくる時間・Creationタイムと題し、参加者の日頃の「悩み」を素材に、それぞれに与えられた場面設定の中で解決する方法について、グループごとに話し合い、その成果を即興劇で発表するワークショップに取り組んだ。

アウトプットの方法を変えることで、素材を捉える視点が変わり、話し合いのプロセスや、思考にも変化が生まれることを実験的に体感するチャレンジであった。



### 「ふじのくに文化情報フォーラム 2018 春 個別テーマ実践プログラム」

アイデアを実現するプロセスを

2018年3月に開催した「グランシップふじのくに文化情報フォーラム2018 春」の交流プログラム「未来をつくる15のテーブル」※を発端に「アイデアを実践に結び付ける手法を学び、地域の課題を解決する」ワークショップを開催。県内各地から、3つのプロジェクトにスポットをあて、KJ法を用いた地域支援ワークショップを実践する情報工房代表の山浦晴男氏を講師に迎え、企画の実現を支援した。

※「未来をつくる15のテーブル」  
しずおかで文化活動に向き合う15人を軸に「思い」や「ストーリー」を共有しアイデア交換をするグループセッション。



### 「地域のアーティストとまちをつなぐ」 (三島市) / アルテ・プラウサ

三島市を中心とした県東部地域の文化・芸術活動を支援し、地域のアーティストが日常的に活動できる街をつくる。

### 「東海道を綴る、ワタシ旅」 (静岡市) / 丁子屋ほか

東海道の魅力を再発見し、多くの人たちに東海道を楽しんでもらうための、静岡市内の各宿場エリアを中心とした地域づくり。

### 「地域の課題を現代アートで解決する」 (掛川市) / 原泉アートプロジェクト

掛川市北部の山間地、原泉地域において、現代アートの展示やアートプロジェクトによる地域課題の解決や地域活性をする。



- 2018年6月 [1] 課題や現状を共有する「問題意識地図」を作成
- 7月 [2] 写真取材の分析から地域に実態を把握する「資源写真地図」を作成
- [3] イラストアイデアを持ち寄り「解決策地図」を描き、それを基に実行計画を作成  
《各プロジェクト実施》
- 2019年3月 [4] 実践した内容・記録写真をもとに「検証写真地図」を作成、今後の活動を再計画

各プロジェクト、現状の把握や、課題の棚卸しのため、写真やキーワードを有効に用いて、関係性の整理と分析をし、まとめるという作業に丁寧に取り組んだ。すると頭の中で漠然としていたことが、くっきりと明確になって浮かび上がる。参加者からは、ワークショップを通して自分たちの課題が何なのか、きちんと言語化され、優先順位が付いた、という声もあった。ふじのくに文化情報センターの約10か月間の伴走は、各プロジェクトを行動に移す一つの後押しになったよう。引き続き、実践につながるステップアップの場を提供していく。

県民のオアシスとなることを目指し、「学術・文化及び芸術の振興並びに国内外との交流を図る」というグランシップの設置目的を念頭に置いた上で、さまざまな利用に対して施設の貸出を行っている。本年も、数多くの文化催事の開催をはじめ、複合施設である当館の特色を活かした学術大会等の利用があった。

### ①学術大会の開催

第49回日本看護学会学術集会や全国街道交流会議第12回全国大会をはじめとして、様々な国内大会・地方大会が開催され、県内、県外から多くの来場者が集まった。

#### 第49回日本看護学会 学術集会 2018年9月27日(木)～28日(金)

メインテーマ「私」の声を紡ぐ慢性期看護の創造～輝いて生きる～」を基に、病みを体験している人を理解し、紡ぎあう関係を考慮したシンポジウムを開催。理論に基づいたより質の高い看護実践能力向上の取り組みについて学び、参加者とともに討議。



#### 全国街道交流会議第12回全国大会 「しずおか大会」 2019年2月15日(金)

「変わる東海道、広がる東海道。～街道が創る未来～」をテーマに開催。約600名が参加。(株)小西美術工芸社代表取締役社長のデービッド・アトキンソン氏による基調講演をはじめ、分科会、全体会、交流会を実施。



### ②県内の文化活動支援としての貸館業務

ふじのくに芸術祭2018より、音楽・舞台芸術部門を中心に、第58回静岡県芸術祭合唱コンクールをはじめとして、邦楽演奏会、春の祭典などを開催。その他、第28回静岡県女流美術家協会展など、広く県民に芸術作品の発表や鑑賞をする機会を提供する事業に寄り添い、県民自ら行う文化活動を支えるべく、様々な文化催事を実施した。

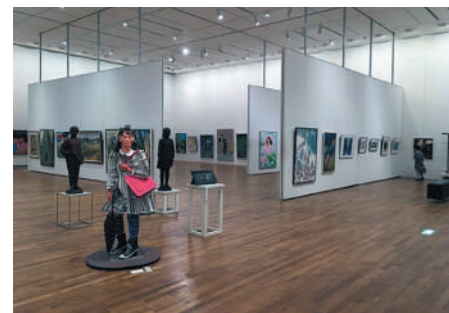
#### ふじのくに芸術祭2018 平成30年度(第58回) 静岡県芸術祭合唱コンクール 2018年11月25日(日)

静岡県の文化向上および発展を目的とし実施。28団体が参加し、それぞれが個性を發揮した美しい合唱を披露。820名が来場し大盛況のうちに終了。



#### 第28回静岡県女流美術協会展 2018年6月13日(水)～17日(日)

審査員に洋画家・絹谷幸二氏を迎えた展示会。洋画、日本画、版画、彫刻、工芸他、様々なジャンルで、静岡県女流美術協会会員の作品、及び静岡県在住、在勤、出身の16歳以上の女性から公募した作品を展示。



### ③催事開催支援サービスの提供

27年度より開始した催事開催支援サービスは、弁当手配やパーティー開催、看板作成、会場設営など、催事を開催する上で必要な各種手配を支援するサービス。3年目となり、メニューの拡充など、利用者のニーズに合わせた展開を行った。

#### JA共済ライフアドバイザー情報交換会 2018年6月7日(木)

大ホール・海で行われたパーティーの様子。



#### 2018年度 神奈川工科大学 地区別父母説明会

2018年5月13日(日)  
会議室1001-1で行われたケータリングサービスの様子。



### ④営業活動の推進

次年度以降のさらなる利用促進のため、(公財)するが企画観光局やツインメッセ静岡などと協働して、各種コンベンションや学術大会などの誘致に努めた。また、利用者の目線に立ち、会議室・練習室等の施設に加え、インターネットによる備品予約を開始。そのために予約システムの機能追加を行うなど、業務の改善を実施した。

#### 平成30年度 8020推進・静岡県大会 2018年11月11日(日)

オーラルフレイル(口腔機能の低下)予防をテーマに基調講演や活動発表、パネルディスカッションを実施。230名が参加し、健康づくりを推進。



#### 第58回静岡県青少年赤十字大会 2018年5月27日(日)

県内の青少年赤十字メンバーが集い、態度目標「気づき・考え・実行する」の達成に向け、日頃学校で取り組んでいる活動を発表。また継続加盟校や作品コンクールの表彰を実施。加盟校26校、児童・生徒、来賓等約320名が参加。





# 1 文化芸術の振興

## (1) グランシップ企画事業

複合施設としてのグランシップの特性を生かし、新たに戦略目標として「音楽文化の普及・振興」、「文芸・美術等の振興」、「伝統芸能の継承」、「子育て世代への支援」の4本柱を立てて「上質で多彩な鑑賞事業」、「誰もが参加できる県民参加型事業」、「ワークショップから公演まで様々なアウトリーチ事業」、「関心・理解・親しみを深める教育普及事業」の各種事業を展開した。

戦略目標別の内訳			
戦略目標	事業本数	入場参加者数	
① 音楽文化の普及・振興	25本	26,324人	
② 文芸・美術等の振興	10本	42,624人	
③ 伝統芸能の継承	19本	8,755人	
④ 子育て世代への支援	10本	57,997人	
合計	64本	135,700人	

事業形態別の内訳			
方針	事業本数	入場参加者数	
ア 上質で多彩な鑑賞事業 ・国内外の上質で多彩な芸術を鑑賞する機会の提供	22本	21,160人	
イ 誰もが参加できる県民参加型事業 ・県民がステージに立つことのできる場の提供	16本	64,262人	
ウ ワorkshopから公演まで様々なアウトリーチ事業 ・普段文化施設に来られない、あるいは生の文化芸術に触れる機会が少ない地域や学校での公演等	14本	42,768人	
エ 関心・理解・親しみを深める教育普及事業 ・文化芸術の素晴らしさを体感し、さらなる興味を持ってもらう機会の提供	12本	7,510人	
合計	64本	135,700人	

### 新たなグランシップファン獲得のための取り組み

#### ● 広報・宣伝の展開

グランシップ企画事業の誘客対象に照準を合わせた広報計画を立て、チケット販売状況に即応した媒体を活用した広報・宣伝を展開した。また、多様化する購買層にあわせて、クラシック、ジャズ、伝統芸能等のセット券は、組み合わせを見直して7種類販売した。

#### ● 新たな世代への取り組み

若年層へ情報発信する有力なツールとして、SNSの一層の活用を目指し、WEB解析を行い、新たな鑑賞者層の獲得に取り組んだ。

#### ● 中高生等への鑑賞支援策

子どものうちから上質で多彩な文化芸術に身近に触れる機会を提供するため、引き続き各公演のこども・学生チケット料金(28歳以下の大学生、子ども)を原則1,000円で設定した。

また、中学校、高校の学校行事や部活動等の課外活動による鑑賞の場合には、チケット料金を800円に割引くとともに、中高生芸術鑑賞支援制度により交通費を支援した。

さらに、高校生の芸術鑑賞を促進するため、グランシップが幹事館として県内の公立ホールと連携した「高校生アートラリー事業」に取り組んだ。

交通費支援			
公演数	学校数	生徒数	金額
12公演	40校	3,880人	4,100,358円

※教員・生徒を合わせ延べ4,007人

高校生アートラリー		
参加館数	対象公演数	チケット料金
18館	88公演	学生料金として1,000円から2,000円が大半

## (2) 文化支援

「ふじのくに芸術回廊の実現」を推進する中核的存在となるよう、県内の文化活動を側面的に支援する「ふじのくに文化情報センター」の機能強化を図るとともに、グランシップ企画事業を活用した人材育成に取り組んだ。

### ふじのくに文化情報センター

文化支援の県域センターとしての効果的で円滑な運営を図るため、運営委員会の改編を検討するとともに、交流と研修の場づくりを積極的に促進するため、「ふじのくに文化情報フォーラム・個別実践プログラム」に新たに取り組んだ。

#### ● 静岡県文化情報サイト「ふじのくに文化情報」の利用促進

文化芸術活動に取り組む人をはじめ、県民の誰もが利用しやすいサイトを目指し、県内の文化芸術催事情報の登録をしやすいように、県内の文化芸術催事情報の登録をしやすいように、また情報誌「GRANSHIP」に情報を一元的に集約し、発信機能を強めた。

登録団体等・施設数 (平成31年3月31日現在)		
文化団体	アーティスト	貸施設
281団体	79人	147施設

アクセス数(延べ数)		
対象期間	表示ページ数	アクセス数
H30.4.1~H31.3.31	延べ1,691,443ページ	221,622人

#### ● 総合相談窓口の運営

面接、電話、メールによる総合案内役として相談窓口を運営した。

相談件数	主な相談内容
40件	助成、活動、事業の企画

#### ● 交流と研修の場づくり

交流と研修・情報収集の場として、「こかげのまなびば」(月2回)と「ふじのくに文化情報フォーラム」(年2回)の充実を図るとともに、文化情報フォーラムから新たな文化活動が生まれ、育つためのワークショップ「個別テーマ実践プログラム」に取り組んだ。

また、文化芸術活動の社会性を考える学術、文化をテーマとした「グランシップ文化講座」(2講座)を開催した。



#### ミニ講座「こかげのまなびば」

実施日	毎月2回(隔週水曜日等)18時30分～
会場	グランシップ1階 ふじのくに文化情報センター
概要	・文化団体、中間支援組織やアーティスト等の講師と参加者が情報やアイデアを交換、交流する場 ・毎回のテーマは文化支援や地域の文化活動に関する事項 ・実施回数24回、参加者347人

#### ふじのくに文化情報フォーラム

種類	ふじのくに文化情報フォーラム 2018 秋	ふじのくに文化情報フォーラム 2019 春
実施日	H30.10.14(日)	H31.2.11(月・祝)
会場	グランシップ交流ホール	グランシップ会議ホール・風
参加者	67人	108人

#### ふじのくに文化情報フォーラム 個別テーマ実践プログラム

種類	ふじのくに文化フォーラム2018 春 個別テーマ実践プログラム			
講師	山浦晴男(情報工房代表)			
実施日	H30.6.9(土)	H30.7.1(日)	H30.7.29(日)	H31.3.16(土)
内容	「問題意識地図の作成」	「資源写真地図の作成」	「解決策地図と実行計画の作成」	「検証写真地図と次計画立案」
参加者	14人	15人	16人	7人

#### グランシップ文化講座

概要	最先端の科学技術や社会問題などをテーマに文化を幅広くとらえた講座。日本の第一人者が、若い人たちを中心に静岡県の将来を一緒に考え、明るい姿が想像できる、未来に向けた行動のきっかけづくりへと繋げる。	
テーマ	日本人として知っておきたい『世界激変』の行方	地球温暖化と異常気象
実施日	H30.6.2(土)、3(日)	H31.3.17(日)
講座数	4講座	2講座とランチセッション1回
会場	グランシップ910会議室	グランシップ910会議室
参加者	287人(延べ人数)	206人(延べ人数)

●文化活動団体の顕彰等

県内の文化活動を発展、振興していくため、新たな地域文化の創造を目指し多彩で優れた文化活動団体を顕彰した。

区分	団体名	所在地
地域文化活動賞	みらいネット浜松	浜松市
奨励賞	静岡ヴェルディ合唱団	静岡市
	浜岡吹奏楽団	御前崎市
	浜松川柳社いしころ会	浜松市
努力賞	富士市女流書作会	富士市
	あかりアートの会	島田市

グランシップ企画事業を活用した人材育成

県内の公立文化施設職員の資質向上や交流を促進し、地域の文化活動団体、アウトリーチに関係する教育関係者、文化行政関係者とのネットワークを強化するため、「静岡県公立ホール連携支援研修事業」や大学生を対象としたインターンシップを実施した。

また、実演による文化芸術を県内各地へ提供するため、地域で活躍するアーティストをグランシップ登録アーティストとして登録し、各地域の公立文化施設と連携しながら音楽アウトリーチを実施した。

	静岡県公立ホール連携支援研修	登録アーティストアウトリーチ	インターンシップ
対象	県内公立文化施設職員	登録アーティスト	大学生
期間	H30.6~H31.3	H30.9~12	H30.6~9
参加人員	研修生:10人、聴講生:7人(延べ106人)	延べ16人(8回実施)	24人(延べ308人)

※インターンシップは、短期集中型3人を含めて、27人。

(3) 文化プログラムに対する取り組み

グランシップオリジナル文化プログラム

「音楽の広場」「トレインフェスタ」「世界のこども劇場」「誰もがWonderfulアート」を文化プログラムに相応しい内容で実施した。「NHK交響楽団×野平一郎プロジェクトシリーズ」では、静岡ゆかりの作曲家・野平一郎氏による静岡らしいグランシップのオリジナル楽曲の創作発表に取り組んだ。

また、新たに若い世代を意識した文楽と演劇を融合した「三谷文楽」やクラシックとポップス、音楽とダンスというクロス・カルチャーで、県民参加型音楽会である「春の音楽祭」を開催した。

関係機関と連携した文化プログラム

国、組織委員会、静岡県文化プログラム推進委員会との連携の下、全県的なオリンピックムーブメントの醸成に努めた。

	東京2020参画プログラム	静岡県文化プログラム
認証件数	20件	63件

文化カプロジェクト環境整備事業

●ふじのくに文化プログラム推進事業助成

東京オリンピック・パラリンピック大会の開催を機に、県内の多彩な文化芸術活動や「ささえる」活動を発展・継承し県内外に発信するため、20団体に対して助成した。

	補助団体名(所在地)	対象事業名
1	浜松少年少女合唱団(浜松市)	浜松少年少女合唱団創立20周年記念演奏会
2	第15回静岡県マンドリンフェスティバル実行委員会(静岡市)	第15回静岡県マンドリンフェスティバル
3	浜松合唱団(浜松市)	創立30周年記念Ⅱ 第30回浜松合唱団定期演奏会
4	静岡ヴェルディ合唱団(静岡市)	静岡ヴェルディ合唱団ミニコンサート
5	コレギウム・ムジクム静岡(静岡市)	コレギウム・ムジクム静岡 ハンガリー友好親善演奏会
6	静岡大学OBグリークラブ(浜松市)	日本・リトアニア親善合唱交流演奏会 リトアニア・ビルニュス大学女声合唱団“Veni Gaoudere”を迎えて
7	オペラ・ディ・ファミーユ(静岡市)	オペラ「助けて!助けて!メロッティがやってきた!」
8	浜松インドネシア友好協会(浜松市)	第13回バンドン浜松文化祭
9	田京の式三番保存会(伊豆の国市)	平成30年度 第60回関東ブロック民俗芸能大会出演
10	さくらの架け橋会(静岡市)	さくらの架け橋 絆 コンサート
11	静岡バツハ合唱団(静岡市)	創立10周年記念事業、J.S.バツハ「カンタータ150番・158番・182番」と團伊玖磨「筑後川」演奏会
12	知半アートプロジェクト委員会(伊豆の国市)	知半アートプロジェクト特別展示 「ひで代さんの楽しごと 布あそび」
13	一般社団法人ユニークポイント(藤枝市)	藤枝短編演劇祭
14	下田「八短調ミサ」を歌う会(下田市)	山田和樹指揮「八短調ミサ」演奏会

	補助団体名(所在地)	対象事業名
1	うきうきプロジェクト(静岡市)	オペラ公演のためのスキルアップ勉強会
2	街カル実行委員会(静岡市)	文化講師&ものづくり作家への「活動の場」提供支援と情報発信事業
3	演劇ユニット FOX WORKS(浜松市)	多目的コミュニティスペース「Sketchbook Theater」運営及びメンバーのスキル養成
4	古谿荘に親しむ会(富士市)	継続的な活動の為に次世代スタッフ養成事業
5	一般社団法人シンフォニエッタ静岡(焼津市)	県外での広報活動強化
6	登呂会議(静岡市)	ARTORO「土がぼくらにくれたもの。〜自給自足は道具から〜」

## 2 グランシップ管理運営

・入館者数…590,327人  
 ※開館(平成11年3月)以来の入館者総数 14,253,088人(平成31年3月31日現在)

	大ホール	中ホール	交流ホール	会議ホール	展示ギャラリー
稼働実績	222日	270日	267日	263日	265日
利用可能日数	273日	310日	316日	319日	317日
稼働率	81.3%	87.1%	84.5%	82.4%	83.6%

※上記ホール系の平均稼働率は83.8%、施設全体の稼働率は84.6%

### (1) 貸館

公共性と収益性のバランスを確保し、「親切・丁寧・迅速・柔軟」をモットーに利用者の満足度を高め、施設の利用促進を図った。

#### 利用者会議の開催

開催日	H31.2.27(水)
場所	グランシップ1202会議室
参加者	平成30年度中にグランシップ会議室・練習室を利用した主催者7団体9人
内容	・過去の利用者会議開催報告 ・意見交換 ・ケータリングサービス体験(デザート・コーヒー試食) 等

#### 催事終了後のアンケート

回答数	4,907件/6,234件 (回答率78.7%)	
結果	施設・備品が使いやすい	85.5%
	館内サインがわかりやすい	84.2%
	スタッフの対応が良い	86.3%

### 利用者サービスの一層の向上

サービスの質の向上を目指し、全ての利用者に対してアンケート調査を実施するとともに利用者会議を開催し、利用者ニーズを的確に把握・分析し、迅速に対応した。

また、弁当手配やパーティー開催などの催事開催支援サービス(ワンストップサービス)では、利用者ニーズを把握してメニューの拡充に努めた。

#### ○業務改善の推進

- ・インターネットによる備品予約の開始
- ・使用結果報告書のお客様のご意見に対する対応改善報告の徹底
- ・パーティーメニューの改定

#### ○中小会議室(100人未満)・練習室のインターネット予約

- ・予約率 52.7%

#### ○利用者会議の開催

#### ○催事終了後のアンケート

#### ○催事開催支援サービスの内訳

- ・弁当、ケータリング、パーティー
- ・テクニカルセッティング、看板、生花、会場設営
- ・レイアウト転換、ごみ処理
- ・コピー等事務サポート

### 積極的な営業活動

貸館の優先予約制度を活用し、全国規模の学会・大会を柔軟に受け入れるとともに、文化団体や県内マスコミ事業部、県内コンサートプロモーターへの営業活動等により、様々な文化芸術・学術催事を積極的に誘致した。

また、県内の文化芸術団体や大学等と協働関係を強め、ふじのくに芸術祭のイベントを誘致したほか、空き状況をダイレクトメールで利用者に送る等、積極的に営業活動に取り組んだ。

なお、全館休館を見据えて、運営改善・収入増を図るための現状分析に取り組んだ。

### 大規模催事の誘致

県内外への営業訪問を計画的に行い、コンベンション等を誘致し、施設利用の一層の拡大を図った。また、(公財)するが企画観光局、ツインメッセ静岡、静岡市民文化会館等と連絡会を設け、誘致のための情報交換を行った。

### (2) 維持管理

#### 安全・安心・快適な施設管理

グランシップ指定管理者として、施設管理、警備、清掃、舞台技術の各業務を専門業者に委託し、適切に管理運営した。

電力中央監視装置の更新等の県修繕工事が円滑に実施できるよう協力した。また施設の運営に支障が生じないよう、大ホールのパレット席や消防用設備、空調機等の不良・不具合箇所を迅速に修繕した。

#### ユニバーサルデザインに配慮した施設運営

すべての来館者が、安心して利用できる施設とするため、毎月の防災訓練の中で、障害のある方への対応等、様々な来館者に対応するための研修を実施した。

#### 省エネルギーと環境負荷の低減

エネルギー監理員主導による効率的なエネルギーの運用を徹底するため、財団及び各常駐事業者等からなる「省エネルギー推進委員会」を毎月開催して、館全体で省エネルギーと環境負荷低減に取り組んだ。

#### エネルギー使用実績

電 気	5,974,810 kWh
ガ ス	661,005 m <sup>3</sup>
エネルギー総量	88,294 GJ

### 賑わい創出

静岡大学、静岡県立美術館、静岡市美術館、静岡市、(公財)静岡市文化振興財団等が東静岡駅北側を中心に静岡市内各所を会場に協働で取組んでいる「めぐりアート」と連携して、館内に作品を展示する「めぐりアート+(プラス)」を新たに始めるとともに、映像ホールを活用したレコードコンサートにも引き続き取り組み、グランシップが文化振興の拠点として、親しみやすい環境づくりを進めた。

#### めぐりアート+(作品展示)

展示期間	作 者	作 品 名
H30.5~10	大杉弘子(書家)	阿摩羅不可思議
H30.10~H31.4	ウィルフリド・ゴンザレス(造形作家)	喜びづくり/心の平和づくり

#### レコードコンサート

開 催 日	回 数	参加者数
毎月月末の金曜日	12回	562人



ウィルフリド・ゴンザレス(造形作家)



大杉弘子(書家)

#### 駐車場管理、自動販売機等管理

来館者サービスの向上を図るため、適切な駐車場管理を行った。また、館内に自動販売機・公衆電話等を設置し、適切に管理した。(自動販売機15台・公衆電話4台)

#### 収入実績

駐車場収入	55,608千円
自動販売機等設置手数料	7,545千円

### (3) サポート組織運営

県内の文化振興に関心があり、活動に積極的な県民の自主的な参加・参画を得て、グランシップの円滑な事業運営を実施した。

### (4) 危機管理とリスクマネジメント

「火災・地震・風水害等の災害が発生した際の対応」を危機管理、また「前記以外の事故・故障・苦情・不審物等のリスクへの対応」をリスクマネジメントと定義し、それぞれの体制を確立して、来館者の安心・安全と信頼の確保に努めた。

#### 危機管理

災害時における来館者の安全確保に万全を期すため、財団職員だけでなく、常駐委託業者スタッフも参加した防災訓練を毎月実施した。

また、発災時の迅速な初動態勢の確立のため、毎日の朝夕礼時に自衛消防隊の編成を確認した。

#### リスクマネジメント

故障による機器類の停止等の回避・低減のため、消耗品の事前交換など適切な維持管理を行った。また異常・故障発生時には、来館者への影響を最小とするため、適切な応急措置を直ちに講じ、修繕を行うとともに、財団で実施できない修繕については、県へ迅速に報告し、指示を受けた。

業務区分	内 容	人数
広 報	ダイレクトメール発送、広報勉強会、館外でのポスター・チラシの掲出・配架、見学案内等	66人
イベント	受付、もぎり、資料配布、会場案内、避難誘導等	65人
撮 影	イベント・公演時の記録撮影、記録写真の整理等	16人
託 児	公演時の託児サービス等	9人
文化情報	静岡県文化情報総合サイト「しずおかの文化情報」における運営等	19人
計	(兼務含む)	175人



## 4 文化財団法人運営

### (1) 広報・宣伝

新聞広告、情報誌「GRANSHIP」やホームページ等の自己媒体、SNSやモニター等の双方向性のある手段を世代に合わせて組み合わせ、情報発信に取り組んだ。

#### 広報調整会議の開催

財団、グランシップ全体の広報・宣伝計画を策定し、毎月1回、広報調整会議を開催し、情報提供時期、媒体等の効果的・効率的な情報発信に取り組んだ。

#### 多様な媒体、手段の活用

既存の媒体とインターネット等の新たな媒体を効率的・効果的に組み合わせながら、若い世代から高齢者まで、様々な世代に合わせた広報・宣伝に引き続き取り組んだ。

### (2) 働きやすい職場づくり

#### 人材育成

##### ● 契約職員の正規職員化

平成28年度から実施している正規職員への登用試験について、平成31年度登用にむけて実施し、1人が合格した。

##### ● 専門的人材の育成

職員が最新の専門知識、技術を習得できる機会を確保するため、全国公立文化施設協会主催の外部専門研修、静岡文化芸術大学より講師を招き主催した芸術文化政策やアートマネジメントの基礎講座に職員を積極的に参加させた。

財団事業計画や指定管理者事業計画を含めた財団の運営状況などをテーマに休館日に職員研修を実施した。

##### ● 効果的な評価制度の運用

勤務実績が優秀な職員に対し、特別研修(職員自ら、取得したい資格、鑑賞したい文化芸術催事、参考になりたい施設等を自由に選び計画したものに対し、財団が費用負担する)を実施した。

### 仕事と生活を両立できる職場づくり

##### ● 労働時間の適切な管理

労働法令及び労使協定を順守し、職員の出退勤の把握、時間外勤務の事前申請の徹底等、労働時間の管理を適切に実施した。

各々の職員が勤務時間を自己管理し、効率的に業務を進めることができるよう、職員研修等を通じて制度の周知、意識啓発を実施した。

##### ● 健康管理とストレスチェックの導入

職員の定期健康診断や人間ドックの検診を実施するとともに、労働安全衛生法に基づくストレスチェックの活用に向けて検討を始めた。

##### ● 育児・介護休業制度の適切な運用

法令改正に依拠した育児・介護休業等に関する規程に基づき、育児短時間勤務制度等を運用した。

	育児休業	短時間勤務	遅出早出勤務
対象職員数	0人	2人	1人

### (3) 安定した財務管理

チケットの販売促進や積極的な営業活動、関係機関と連携した大規模催事の誘致、催事開催支援サービスの利用者増による収入の確保のほか、文化庁の国庫補助金に加えて、キャリアアップ助成金を獲得するなど、厚生労働省の各種助成金も活用した。

また、常に財団の財務状況を把握し、適時適切な対応ができる体制を維持するため、毎月の月次決算及び上半期終了時の中間決算を実施した。

## 3 友の会事業

区 分	年会費	特 典
個人会員	無料	<ul style="list-style-type: none"> <li>企画事業のチケット優先予約(一般発売の1週間前)</li> <li>指定するグランシップ企画事業のチケット購入額の5%のポイント付与</li> <li>積み立てポイントは100ポイント単位(1ポイント=1円)で次回購入時から割引、または500ポイント単位で1階レストラン・カフェでの割引</li> <li>公演情報の無料提供</li> <li>グランシップ友の会提携店及び提携館での割引サービス他</li> </ul>
法人会員	特別会員	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報誌・グランシップホームページへの法人名掲載</li> <li>グランシップ1階エントランスホールに法人名掲出</li> <li>グランシップ企画事業への招待(年間:特別会員20席、一般会員6席)</li> <li>事務局が指定する事業の招待券を配布(登録従業員数分、上限:特別会員1,000枚、一般会員500枚)</li> <li>法人会員の社員等はチケット10%割引のほか、ポイント付与以外の個人会員の特典を付与</li> </ul>
	一般会員	100,000円

入会状況			
友の会個人会員数	10,096人		
	特別会員	一般会員	計
友の会法人会員数	4社	20社	24社

平成30年度 主催事業(企画事業)

Table with columns: ジャンル, 日程, 催事名, 出演者・団体等, 会場, 演目・曲目・内容等, 財団以外の主催・共催. Includes various music and cultural events such as jazz festivals, chamber music performances, and poetry readings.



# 平成30年度主な貸館事業

開催日	催事名	主催者名	主な使用施設
<b>音楽・演劇・ダンス等</b>			
4月8日(日)	JMK日本音楽歌謡講師会主催 静岡県歌謡選手権大会	JMK日本音楽歌謡講師会	中ホール・大地
4月15日(日)	第48回スクエアダンスジャンボリー	静岡県ボールルームダンス連盟	会議ホール・風
4月22日(日)	中部日本ダンス競技静岡県大会	静岡県ボールルームダンス連盟	大ホール・海
4月25日(水)・26日(木)	KAJALLA #3 『働けど働けど』静岡公演	株式会社TBSラジオ 営業統括局事業部	中ホール・大地
5月26日(土)	静岡市立高等学校マンドリン部 第18回定期演奏会	静岡市立高等学校マンドリン部	中ホール・大地
6月6日(水)	談ス・シリーズ 第三弾「凸し凹る」	株式会社テレビ静岡	中ホール・大地
7月15日(日)	星野聡子モダンバレエスタジオ公演 にじいろのさかなと仲間たち	星野聡子モダンバレエスタジオ	中ホール・大地
8月28日(火)	第17回みんなの音楽会 交流コンサート	特定非営利活動法人 ミュージック・コミュニティーネットワーク	中ホール・大地
9月16日(日)	シンフォニエッタ 静岡 第54回定期公演	一般社団法人シンフォニエッタ静岡	中ホール・大地
10月21日(日)	西アフリカの響きと江戸太神楽	散太郎神楽	交流ホール
10月27日(土)	日本製紙NewWaveConcert2018	株式会社静岡新聞社・静岡放送 営業局	中ホール・大地
10月28日(日)	ザ・スイング・ハード・オーケストラ リサイタル カウント53	ザ・スイング ハード オーケストラ	中ホール・大地
11月5日(月)	舞台「ペコロスの母に会いに行く」	株式会社エム・ケイ・ツー	中ホール・大地
11月9日(金)	ヤノシュ・オレイニチャク ピアノ・リサイタル	株式会社テレビ静岡	中ホール・大地
11月18日(日)	ふじのくに芸術祭2018邦楽演奏会	静岡県三曲連盟	中ホール・大地
11月25日(日)	第58回静岡県芸術祭音楽・舞台芸術部門合唱コンクール	静岡県合唱連盟	中ホール・大地
12月21日(金)	東儀秀樹×古澤 巖×coba コンサートツアー2018	株式会社 静岡リビング新聞社	中ホール・大地
12月22日(土)	第3回静岡県高等学校軽音楽 新人大会	静岡県高等学校文化連盟軽音楽専門部	中ホール・大地
12月23日(日)	ASKA PREMIUM SYMPHONIC CONCERT 2018	株式会社阪神コンテンツリンク	大ホール・海
12月28日(金)	常葉大学ウインド・サウンズ・アンサンブル第37回定期演奏会	常葉大学ウインド・サウンズ・アンサンブル	中ホール・大地
1月5日(土)・6日(日)	第6回静岡県民ミュージカル「ゴーストパラダイス-闇夜の天使たち-」	To BE FREE 実行委員会	中ホール・大地
1月16日(水)	平成30年度静岡県中部高等学校定時制通信制生徒合同文化祭	静岡県高等学校定通教育振興会及び高文連専門部	中ホール・大地
1月26日(土)	第38回静岡音楽祭	静岡県防衛協会	大ホール・海
3月28日(木)	静岡県立科学技術高等学校 吹奏楽部 第10回定期演奏会	静岡県立科学技術高等学校 吹奏楽部	中ホール・大地
<b>展示</b>			
4月11日(水)～15日(日)	第68回静岡県勤労者総合美術展	一般社団法人 静岡県労働者福祉協議会	展示ギャラリー
5月12日(土)・13日(日)	小原流静岡地区みんなの花展 花のささやきvol.III	小原流 静岡支部	展示ギャラリー
6月13日(水)～17日(日)	第28回静岡県女流美術協会展	静岡県女流美術協会	展示ギャラリー
6月27日(水)・28日(木)	第20回静岡県洋菓子作品展	静岡県洋菓子協会	展示ギャラリー
9月1日(土)	New Generations-若手デザイナーが創り上げる新しい花の世界-	公益社団法人日本フラワーデザイナー協会	展示ギャラリー
10月25日(金)	「ふじのくに建設イノベーション」新技術交流イベント2018 in 静岡	静岡県交通基盤部建設支援局技術管理課	交流ホール 他
12月13日(木)～17日(月)	第27回愛護ギャラリー展	静岡県知的障害者福祉協会	展示ギャラリー
2月1日(金)～2月3日(日)	静岡デザイン専門学校 デザインア・ラ・モード2019	学校法人静岡理科大学 静岡デザイン専門学校	中ホール・大地 他
2月22日(金)～24日(日)	常葉大学 造形学部 卒業制作展	常葉大学 造形学部	展示ギャラリー 他
2月25日(月)～3月3日(日)	わたしたちの北星余市展	静岡県立大学学生有志	展示ギャラリー

開催日	催事名	主催者名	主な使用施設
<b>学会</b>			
5月30日(水)～6月1日(金)	日本薬剤学会第33年会	公益社団法人 日本薬剤学会第33年会	会議ホール・風 他
6月2日(土)・3日(日)	第14回 静岡県臨床工学会 学術学会	一般社団法人 静岡県臨床工学会	会議ホール・風
6月16日(土)・17日(日)	第31回静岡県作業療法学会	公益社団法人 静岡県作業療法士会	会議ホール・風 他
7月12日(木)・13日(金)	第51回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会	静岡県立静岡がんセンター	中ホール・大地 他
7月26日(木)・27日(金)	平成30年度東海北陸地区私立幼稚園教育研究静岡大会	一般社団法人静岡県私立幼稚園振興協会	大ホール・海 他
8月20日(月)	第10回静岡県高齢者福祉研究大会	静岡県老人福祉施設協議会	会議ホール・風 他
9月27日(木)・28日(金)	第49回日本看護学会 学術集会	公益社団法人 静岡県看護協会	大ホール・海 他
10月12日(金)・13日(土)	日本心血管インターベンション治療学会 第40回東海北陸地方会	日本心血管インターベンション治療学会東海北陸支部	会議ホール・風 他
11月4日(日)	平成30年度 日本内科学会生涯教育講演会Bセッション	一般社団法人 日本内科学会	大ホール・海
11月4日(日)	第37回日本小児歯科学会 中部地方会大会および総会	第37回日本小児歯科学会中部地方会	会議ホール・風 他
11月16日(金)・17日(土)	第23回静岡健康・長寿学術フォーラム	静岡健康・長寿学術フォーラム実行委員会	会議ホール・風 他
12月2日(日)	第51回東海薬剤師学術大会	静岡県薬剤師会	大ホール・海 他
3月1日(金)・3月2日(土)	第24回 国際力動的心理療学会 年次大会	国際力動的心理療学会	10階会議室 他
<b>大会・式典・講演等</b>			
4月14日(土)・15日(日)	第8回全日本極真空手道型選手権大会 第9回東日本極真空手道選手権大会	一般社団法人 国際空手道連盟極真会館 世界極真 大石道場	大ホール・海
5月27日(日)	第58回静岡県青少年赤十字大会	日本赤十字社 静岡県支部	中ホール・大地
5月27日(日)	第65回NHK杯全国高等学校放送コンテスト中部支部予選	静岡県高等学校文化連盟放送専門部中部支部	映像ホール 他
6月15日(金)	しずおか健康いきいきフォーラム21 総会記念対談・連携協働のつどい	公益財団法人しずおか健康長寿財団	会議ホール・風
7月31日(火)	平成30年度静岡県献血推進大会	静岡県健康福祉部生活衛生局薬事課	会議ホール・風
9月18日(火)	平成30年度 第55回 静岡県自動車連合会 安全運転コンクール表彰式	一般社団法人 静岡県自動車会議所	会議ホール・風
10月6日(土)	第20回静岡県障害者芸術祭シンボルイベント	静岡県健康福祉部 障害者政策課	中ホール・大地 他
10月14日(日)	リハビリ健康セミナー ココロも、リハビリも、笑いから。	医療法人社団アールアンドオー	大ホール・海
10月20日(土)	第10回静岡市民「からだ」の学校	地方独立行政法人 静岡市立静岡病院	会議ホール・風
11月1日(木)	平成30年度第45回静岡県公立小中学校教頭会 研究大会	静岡県公立小中学校教頭会	会議ホール・風 他
11月6日(火)・7日(水)	2018日米医療機器イノベーションフォーラム静岡	静岡県経済産業部商工業局新産業集積課	会議ホール・風 他
11月11日(日)	平成30年度 8020推進・静岡県大会	静岡県8020推進住民会議	会議ホール・風
11月21日(水)	学校法人 静岡和洋学園 静岡女子高等学校 創立100周年記念式典	学校法人 静岡和洋学園 静岡女子高等学校	中ホール・大地
12月7日(金)・8日(土)	第15回お米日本一コンテストinしずおか	お米日本一コンテストinしずおか実行委員会	交流ホール 他
12月17日(月)	金融・経済講演会	静岡県金融広報委員会	会議ホール・風
1月3日(木)	静岡市成人式	静岡市子ども未来局青少年育成課	大ホール・海
1月11日(金)	平成31年静岡県警察年頭視閲式	静岡県警察本部	大ホール・海
2月15日(金)	全国街道交流会議第12回全国大会「しずおか大会」	全国街道交流会議第12回全国大会「しずおか大会」実行委員会	中ホール・大地 他
2月22日(金)	平成31年 静岡県柑橘生産者大会	静岡県経済農業協同組合連合会	中ホール・大地
2月28日(木)	2019年3・1ピキニデー日本原水協全国集会	原水爆禁止日本協議会	中ホール・大地 他

# 平成30年度 決算状況

(単位:円)

科 目	公益目的事業	収益事業等			法人会計	内部取引消去	合 計
	文化・芸術	収益事業	友の会	小計			
I 一般正味財産増減の部							
1 経常増減の部							
(1) 経常収益	755,416,560	586,162,392	6,470,965	592,633,357	11,052,758	△ 4,475,524	1,354,627,151
基本財産運用益	4,615,159	0	0	0	3,076,772	0	7,691,931
特定資産運用収益	0	0	0	0	24,794	0	0
事業収益	713,269,130	581,279,390	6,470,965	587,750,355	7,940,035	△ 4,475,524	1,304,483,996
受取補助金等	32,306,334	3,887,210	0	3,887,210	0	0	36,193,544
受取負担金	4,125,937	0	0	0	0	0	4,125,937
受取寄付金	1,000,000	0	0	0	0	0	1,000,000
特別賛助会員会費	100,000	0	0	0	0	0	100,000
雑収益	0	995,792	0	995,792	11,157	0	1,006,949
(2) 経常費用	839,334,793	484,379,647	6,839,045	491,218,692	19,659,169	△ 4,475,524	1,345,737,130
事業費	839,334,793	484,379,647	6,839,045	491,218,692	0	△ 4,475,524	1,326,077,961
管理費	0	0	0	0	19,659,169	0	19,659,169
(3) 評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 83,918,233	101,782,745	△ 368,080	101,414,665	△ 8,606,411	0	8,890,021
2 経常外増減の部							
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
3 他会計振替額	47,312,974	△ 55,919,385	0	△ 55,919,385	8,606,411	0	0
4 法人税、住民税等	0	15,935,700	0	15,935,700	0	0	15,935,700
当期一般正味財産増減額	△ 36,605,259	29,927,660	△ 368,080	29,559,580	0	0	△ 7,045,679
一般正味財産期首残高	185,187,272	133,128,555	14,361,151	147,489,706	338,780	0	333,015,758
一般正味財産期末残高	148,582,013	163,056,215	13,993,071	177,049,286	338,780	0	325,970,079
II 指定正味財産増減の部							
(1) 基本財産評価益	3,995,340	0	0	0	2,663,560	0	6,658,900
(2) 基本財産評価損	1,281,210	0	0	0	854,140	0	2,135,350
当期指定正味財産増減額	2,714,130	0	0	0	1,809,420	0	4,523,550
指定正味財産期首残高	631,874,626	0	0	0	421,249,750	0	1,053,124,376
指定正味財産期末残高	634,588,756	0	0	0	423,059,170	0	1,057,647,926
III 正味財産期末残高	783,170,769	163,056,215	13,993,071	177,049,286	423,397,950	0	1,383,618,005

# 静岡県文化財団・グランシップの沿革

- 昭和59年5月 ● 財団法人静岡県文化財団設立(基本財産:県9億円、市町村1億円、県民等47万円)
  - 「文化鑑賞の提供事業」:地域音楽公演
  - 「地域文化の振興事業」:文化団体への助成
  - 「文化意識の啓発事業」:地域文化活動の顕彰
  - 「文化情報の提供事業」:静岡の文化の発行
- 昭和60年1月 ● 季刊「静岡の文化」創刊号発行
- 平成6年 ● (財)静岡県文化財団10周年記念出版「今川時代とその文化」発行
- 平成6年3月 ● 東静岡都市拠点総合整備委員会より施設の導入機能について知事に提言
- 平成7年12月 ● 静岡県が県民国際プラザ(仮称)建築工事着手
- 平成8年 ● 静岡県は県民国際プラザ(仮称)の名称を「静岡県コンベンションアーツセンター」、愛称を全国公募により「グランシップ」に決定
- 平成10年8月 ● グランシップ建物竣工
- 平成10年11月 ● (財)静岡県文化財団がグランシップ管理運営業務受託、テストラン実施(～11年2月)
- 平成11年3月13日 ● グランシップ開館
- 平成11年3月～ ● グランシップ開館記念事業開催(アニメーションワークス、バルーンアートフェスティバル 他)
- 平成11年12月 ● グランシップ来館者100万人達成
- 平成12年2月～ ● グランシップ開館1周年記念事業開催(ガーデニングフェスティバル、モーツァルト!モーツァルト!モーツァルト! 他)
- 平成14年1月～ ● グランシップ開館3周年記念事業開催(わんぱく2002ほか)
- 平成16年3月～ ● グランシップ開館5周年記念事業開催(糸操り人形「夢の浮橋～人形たちの『源氏物語』」、新作品「利休」 他)
- 平成17年2月 ● グランシップ来館者500万人達成
- 平成18年4月 ● (財)静岡県文化財団がグランシップ指定管理者として管理運営業務受託(3年間)
- 平成20年2月～ ● グランシップ開館10周年記念事業(オペラ「椿姫」、北大路魯山人展 他)
- 平成21年4月 ● (財)静岡県文化財団がグランシップ第2期指定管理者として管理運営業務受託(3年間)
- 平成23年2月 ● 季刊「しずおか文化」100号で廃刊、新たに「しずおか文化新書」(県内の文化にまつわる事柄をテーマとして取り上げ、記録し、保存する新書)発行
- 平成23年4月 ● 文化団体への助成を見直し、「ふじのくに文化芸術振興助成」制度開始
- 地域音楽公演に代わり、「中高生芸術鑑賞支援(県内の中高生がグランシップで芸術鑑賞する場合に交通費を支援)事業開始
- 平成24年2月 ● グランシップ来館者1,000万人達成
- 平成24年4月 ● (財)静岡県文化財団がグランシップ第3期指定管理者として管理運営業務受託(5年間)
- 平成24年12月 ● グランシップと中国浙江省杭州劇院が友好交流協定締結
- 平成25年4月 ● 公益財団法人静岡県文化財団としてスタート
- 平成26年5月 ● 石塚正孝が第3代グランシップ館長に就任
- 平成26年8～11月 ● グランシップ安全対策改修工事(26年5～11月)に伴い完全休館、12月1日再オープン
- 平成27年3月末 ● 新情報誌「GRANSHIP」発刊
- 平成27年4月 ● グランシップ友の会個人会員新制度が発足
- 平成27年5月 ● 貸館受付を1階インフォメーションへ移動、「催事開催支援サービス」開始
- 平成27年7月 ● 鈴木壽美子理事が第4代理事長に就任
- 平成29年4月 ● (公財)静岡県文化財団がグランシップ第4期指定管理者として管理運営業務受託(5年間)
- 平成31年3月～ ● グランシップ開館20周年記念事業開催(春の音楽祭 他)

## 施設概要

正式名称	静岡県コンベンションアーツセンター
所在地	静岡県静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号
開館時間	午前9時～午後10時
休館日	不定期、12月29日～1月3日
敷地面積	36,009.5㎡
建築面積	13,647.3㎡
延床面積	60,630.0㎡
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造
階数	地上12階、地下2階
建物全長	約200m
最大幅	約80m
最高高さ	約60m
開館	平成11年3月13日
駐車場	約400台

## 利用状況

主要施設稼働率 (単位:%)

年度	大ホール	中ホール	交流ホール	会議ホール	展示ギャラリー	全体平均
平成28	82.0	85.3	78.6	76.5	82.9	83.8
平成29	78.7	81.2	78.5	74.9	84.0	82.6
平成30	81.3	87.1	84.5	82.4	83.6	84.6

来館者数 (単位:人)

年度	来館者数	累計
平成28	728,874	13,038,319
平成29	624,442	13,662,761
平成30	590,327	14,253,088

### 《公益財団法人静岡県文化財団 グランシップ指定管理者》(令和元年9月現在)

